

令和5年度一般財団法人京都陸上競技協会女性委員会指導者セミナー 報告

令和6年2月24日(土)ウエスティン都ホテルにおいて、「令和5年度一般財団法人京都陸上競技協会女性委員会指導者セミナー」が開催されました。開会に先立ち岡野路子京都陸上競技協会副会長が挨拶をされ、大阪陸協、滋賀県陸協からの出席も含め、52名の方々が参加されました。

講演会は、京都文教中学・高等学校陸上競技部顧問内田典子先生を講師としてお招きして、「夢を現実に～脳をコントロールする～」というテーマでご講演いただきました。内田先生はハードルを専門とし、現役時代には全国インターハイ、国体で100mハードル優勝という輝かしい経歴をお持ちになっておられます。また指導者としても全国大会に優勝、入賞する選手を数多く輩出され、その中には世界大会に出場し活躍している選手もいます。講演会では、これまでの指導で大切にしてくれた選手との関係性を中心に、カテゴリーごとの目標や選手とのエピソードなどを交えながら先生らしい指導の方向性を話していただき、中学・高校の6年間で陸上競技を通して人として成長してほしいという思いを熱く語られました。事前にいただいた「なぜ文教は強いのか」「女子選手の指導において気をつけていること」の二つの質問に対して、「文教出身の指導者が文教のことが好きで指導しているから」「女子は体脂肪がつきやすいので、休みの日にも生活のルーティンを変えないように指導している」など内田先生らしい答えが返ってきました。

卒業生から花束贈呈、柴田博之強化普及部部長から講評として「内田先生が独自の考えで自信を持って指導されている姿」についてふれられ閉会の挨拶とされました。

講演会終了後、田中セツ子名誉会長の挨拶、伊東輝雄副会長の乾杯のご発声で懇親会が開催され、日頃の指導についての課題や大阪、滋賀陸協の方々との意見交換がなされるなど大変充実した時間となり、最後に西村慶治理事長からの閉会の挨拶で会の幕を閉じました。

この女性委員会指導者セミナーは、毎年女性の指導者の方にご講演いただき、最近では大阪や滋賀の女性指導者の方にもご出席いただいています。このセミナーを今後も開催しよりよいセミナーにするためにも、内容を検討していきたいと考えております。皆様からのご意見をお聞かせいただければ幸甚に存じます。皆様からいただきましたご意見を女性委員会の活動、女性の指導者だけでなく京都陸上競技協会のさらなる発展のために活用させていただきますので、今後ともよろしくお願いたします。

講演の様子

